

函館工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	コミュニケーション英語 I	
科目基礎情報							
科目番号	0013		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 3		
開設学科	生産システム工学科		対象学年		1		
開設期	通年		週時間数		前期:2 後期:2		
教科書/教材	Step by Step 2 / スタディーサブリ English / 自主教材						
担当教員	臼田 悦之,オレクサ ロバート						
到達目標							
1. 英語の子音・母音、音変化、プロソディー、発音記号を理解でき実際に発音できる。 2. 4技能を駆使して、様々な情報や考えなどを的確に理解したり、相手に伝えることができる。 3. 語彙や言語運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		英語の子音・母音、音変化、プロソディー、発音記号を理解でき、正しく発音できる。		英語の子音・母音、音変化、プロソディー、発音記号を理解でき、意識すればほぼ正しく発音できる。		英語の子音・母音、音変化、プロソディー、発音記号を理解できない。また、意識しても正しく発音できない。	
評価項目2		様々な情報や考えなどを的確に理解でき、相手に概要をわかりやすく伝え、意見交換ができる。		様々な情報や考えなどを的確に理解でき、相手に概要をおおまかに伝え、簡単な意見交換ができる。		情報や考えなどを的確に理解できない。また相手に概要を伝えられない。簡単な意見交換もできない。	
評価項目3		語彙や言語運用の知識を身につけ実際に運用でき、背景にある文化を理解できる。		語彙や言語運用の知識を身につけ、ある程度運用でき、背景にある文化を理解できる。		語彙や言語運用の知識を身につけられない。背景にある文化も理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 E							
教育方法等							
概要		英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付け、身近なこと、自然現象、社会の出来事などの話題について英語で理解したり伝えたりする初歩的な英語運用能力を養う。また、基本的な英語発音・プロソディー・発音記号に関して理解でき、実際に発音できるようにする。「スタディーサブリ English」（eラーニング(electronic learning)）を活用し授業外での学習状況を授業で確認したり、その内容に基づいてコミュニケーション活動を行う。さらにタスク・ベースの活動を通じて4技能(Reading, Listening, Speaking, Writing)をバランスよく向上させたり、語いや文法の知識を広げることを目指す。					
授業の進め方・方法		・カタカナ英語にならないよう、英語らしい発音を心がけること※特に子音と音変化をしっかりと意識すること ・4技能(reading, listening, speaking, writing)をバランスよく鍛え、積極的にコミュニケーションをとること ・自分の考えや意見を、間違いを恐れず積極的に英語で表現しようとする姿勢を持つこと ・コミュニケーション英語 I は学修単位 (3単位) なので、後期の8週目で終了するが、前期の初めからeラーニング（スタディーサブリEnglish）で自学自習した時間を含めて評価する。 ※この講義内容は全てコアカリキュラムの内容に基づいている					
注意点		・英語は積み上げ科目なので、単語学習、予習復習、課題、e-Learningなど毎日勉強すること ・eラーニングでスピーキングの問題ができるように自分のPCにマイクがついていることを確認すること					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	・ガイダンス ・eラーニングについて（スタディーサブリEnglish） ・LMSの使い方 ・英語らしい発音			・学習の到達目標、学習内容、および留意点を理解できる ・eラーニングを使った学習方法がわかる ・LMSの使い方が理解できる 【発音】英語には音変化があることがわかる	
		2週	・英語発音の基礎：音変化 ・Self-introduction ・eラーニング ・Step by Step Unit1前半			【発音】音変化の仕組みがわかり、発音できる ・自己紹介を30秒程度英語でできる ・eラーニングで学習を進めることができる ・Unit 1の前半を理解できる	
		3週	・英語発音[th] ・eラーニング ・Step by Step Unit 1 後半			【発音】無声音と有声音の[th]を正確に発音できる ・eラーニングで学習を進めることができる ・Unit 1 後半を理解できる	
		4週	・英語発音[f] ・eラーニング ・Step by Step Unit 2 前半			【発音】子音[f]の音を正確に発音できる ・eラーニングで学習を進めることができる ・Unit 2 前半を理解できる	
		5週	・英語発音[v] ・eラーニング ・Step by Step Unit2後半			【発音】子音[v]の音を正確に発音できる ・eラーニングで学習を進めることができる ・Unit 2 後半を理解できる	
		6週	・英語発音[r] ・eラーニング ・Step by Step Unit3前半			【発音】子音[r]の音を正確に発音できる ・eラーニングで学習を進めることができる ・Unit 3 前半を理解できる	
		7週	・英語発音[l] ・eラーニング ・Step by Step Unit3後半			【発音】子音[l]の音を正確に発音できる ・eラーニングで学習を進めることができる ・Unit 3 後半を理解できる	
		8週	中間試験			学習した内容を60%以上理解できる	
	2ndQ	9週	・答案返却・解答解説 ・Step by Step Unit 4 前半			・解説を通じて、自分の間違った箇所を理解できる ・Unit 4 前半を理解できる	
		10週	・英語発音[子音+r] ・Step by Step Unit 4 後半 ・eラーニング			【発音】[子音+r]の音を正確に発音できる ・Unit 4 後半を理解できる ・eラーニングで自分の間違いを確認できる	
		11週	・英語発音[l] ・Step by Step Unit 5 前半			【発音】子音[p]の音を正確に発音できる ・Unit 5 前半を理解できる	

後期		12週	・英語発音[r],[l]応用 ・Step by Step Unit 5 後半 ・eラーニング	【発音】子音[r],[l]の音が連続しても正確に発音できる（応用） ・Unit 5 後半を理解できる ・eラーニングで自分の間違いを確認できる
		13週	・英語発音[w] ・Step by Step Unit 6 前半	【発音】子音[w]の音を正確に発音できる ・Unit 6 前半を理解できる
		14週	・英語発音[n],[ng] ・Step by Step Unit 6 後半 ・eラーニング	【発音】子音[n],[ng]の音を正確に発音できる ・Unit 6 後半を理解できる ・eラーニングで自分の間違いを確認できる
		15週	・前期期末試験	学習した内容を60%以上理解できる
		16週	答案返却・解答解説 ・英語発音[s],[z],[t] ・Step by Step② Unit 1 前半	・解説を通じて、自分の間違った箇所を理解できる 【発音】[s],[z],[t]の発音を正確に発音できる ・Unit 1 前半を理解できる
	3rdQ	1週	・英語発音[ou],[ɔ :] ・Step by Step② Unit 1 後半 ・eラーニング ・Presentation: My favorite thing	【発音】[ou],[ɔ :]の音を正確に発音できる ・Unit 1 後半を理解できる ・eラーニングで自分の間違いを確認できる ・My favorite thingというテーマでプレゼンの準備ができる
		2週	・英語発音[i],[i :] ・Step by Step② Unit 2 前半 ・Presentation: My favorite thing	【発音】[i],[i :]の音を正確に発音できる ・Unit 2前半を理解できる ・My favorite thingというテーマでプレゼンができる
		3週	・英語発音[ir] ・Step by Step② Unit 2 後半 ・eラーニング ・Classroom Survey	【発音】[ir]の音を正確に発音できる ・Unit 2 後半を理解できる ・eラーニングで自分の間違いを確認できる ・Classroom Surveyの準備ができる
		4週	・英語発音[ar] ・Step by Step② Unit 3 前半 ・Classroom Survey	【発音】[ar]の音を正確に発音できる ・Unit 3 前半を理解できる ・Classroom Surveyの準備ができる
		5週	・英語発音[u],[u :] ・Step by Step② Unit 3後半 ・eラーニング ・Classroom Survey	【発音】[u],[u :]の音を正確に発音できる ・Unit 3 後半を理解できる ・eラーニングで自分の間違いを確認できる ・Classroom Surveyのプレゼンができる
		6週	・Step by Step② Unit 4 前半 ・Classroom Survey	・Unit 4 前半を理解できる ・Classroom Surveyのプレゼンができる
		7週	・英語発音[i],[i :] ・Step by Step② Unit 4 後半 ・復習	【発音】[i],[i :]の音を正確に発音できる ・Unit 4 後半を理解できる ・試験範囲を理解し、準備ができる
		8週	後期中間試験	学習した内容を60%以上理解できる
	4thQ	9週	答案返却・解答解説 振り返り	・解説を通じて、自分の間違った箇所を理解できる ・学習した内容を振り返り、今後の学習計画を立てられる
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
			英語運用能力向上のための学習	実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	
				自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	

評価割合

	試験	発表	小テスト	態度	ポートフォリオ	課題等	合計
総合評価割合	50	10	10	0	0	30	100

基礎的能力	50	10	10	0	0	30	100
專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0